

子どもの健康を第一に考えた、 安心・快適な保育環境が評価されています。

社会福祉法人 江北会 さつき保育園さま

細菌だけでなく浮遊ウイルスの活動も抑制でき、かつ人体への安全性が認められた機器を探していた折に、プラズマクラスターイオン発生機 の存在を知り、導入を即決しました。



■導入先



社会福祉法人
江北会
さつき保育園 さま

- 東京/足立区
- 1998年(平成10年)開園

■導入商品

プラズマクラスターイオン発生機
IG-840/820 × 15台

- 教室、職員室、給食室、トイレに15台を設置。

こんなソリューションを実現しました

Before

導入前(課題)

1

従来使用していたオゾン発生機は菌への効果はあるものの、浮遊ウイルスの除去は期待できず、感染対策としては不十分でした。

2

トイレの臭いや教室に漂う足の臭いを消したかったが、オゾン発生機は園児への安全性に配慮しながらの稼働であったため、消臭が完全ではありませんでした。

3

衛生面で、より安心できる保育環境を整備したいと考えていました。

After

導入後(効果)

1

プラズマクラスターイオンによる浮遊ウイルスの作用の抑制により、快適な空気環境が実現されました。

2

導入と同時にトイレやオムツ、教室内の臭いの抑制を実現。プラズマクラスターイオンは人体への安全性が確認されているため、常時稼働でき消臭効果を持続できます。

3

導入による空気環境への配慮が保護者にも理解され、環境面での取り組みが強い信頼感につながっています。

■インタビュー



休園などの事態を避けたいと常々考えていましたので、製品を知ったときには、コレだ！と飛びつきました。

以前はオゾン発生機を園内の要所要所に置いていました。しかし、これは菌への作用だけでしたので、浮遊ウイルスの活動を抑制できるものはないかと探していたんです。

いっぽう、プラズマクラスターイオンそのものはシャープの空気清浄機も導入していましたので、効果を知っていたのですが、できれば高濃度でプラズマクラスターイオンを発生させる専用の機器が出ないかと待っていました。そんな時に販売代理店さんからのファックスでこの発生機の存在を知り、「あ、コレだ！」とすぐに導入したという次第です。

社会福祉法人 江北会 理事長
さつき保育園 園長 野口澄夫 様

トイレやオムツなどの臭いがほとんどしなくなりました。

設置して、まず変わったのが臭いですね。幼児用と乳児用トイレそれぞれに1台ずつ入れていますが、これまであった小便器のアンモニア臭がほとんどしなくなり、乳児用トイレのオムツの臭いも消えました。

また、当園では幼児になると裸足での保育をしていますので、室内に独特の足の裏の臭いが漂っていましたが、これも感じられなくなりました。

以前行っていたオゾン発生器による消臭は園児への安全性の問題がありましたが、プラズマクラスターイオンは高濃度でも人体に安全ですから、園児のいる時間にも稼働でき、常に消臭効果を得られる点ありがたいです。



乳児トイレではオムツ(手前のハンガー)の臭いもほとんど感じない。



お金で買えない「信用」のためにも、環境の向上をめざしています。

例えば、散歩から帰ってきたらしっかり手洗い、うがいをし、先生方も汚物を扱うときには必ずビニール袋を使うなど、衛生面を徹底させています。とにかくここから感染を拡げない、そういう思いは強いです。子どもが熱を出せばお母さんは仕事を休まなくては行けないし、休園になればたくさんの方の保護者の方に影響が出てしまいますからね。



プラズマクラスターイオン発生機の導入もその一環であり、園内に機器の説明ポスターを貼って保護者の方にもお知らせしています。「どういう効果があるの？」と聞かれる方や、良さを知って家庭用の機器をさっそく購入されたお父さんもいらっしゃいました。

当園としては、衛生面などの設備には、多少負担はかかってもできる限りの努力をして、それを保護者の方にも知っていただきたい。そこから信用を築いていくことが保育園の運営には一番大事だと思っています。今後も設備を充実させ、できれば時代の最先端を行く保育園をめざしたいですね。

各教室の窓に掲示されているポスター。興味を示す保護者の方も多いです。